

令和7年度

皮革製造業再編特別対策事業報告書

— 日本産革PR —

《東京レザーフェアイベント出展》

令和8年3月

一般社団法人日本タンナーズ協会

— 東京レザーフェア出展 —

目次

1. はじめに	1
2. 第109回 東京レザーフェア	2
3. 総括	5

東京レザーフェア出展

1. はじめに

皮革製造業再編特別対策事業の日本産革の普及事業の一環として、協同組合資材連主催の第109回 東京レザーフェア（※以下、TLF）に出展し、平成23年度から数えて計26回の出展となった。次章から出展詳細を報告する。

東京レザーフェア（TLF）

協同組合資材連が開催する日本最大級の皮革及び皮革関連資材トレードショー。出展するのは、タンナー、皮革製造販売、皮革販売、底材、副資材、刃型、皮革試験、皮革製品などの企業および団体。開催会場は東京都立産業貿易センター台東館。

第109回は38社及び7団体が出展し、テーマは『EXPLORER つながる、深まる！探革心』。



【台東館】



【入口付近】



2. 第109回 東京レザーフェア

1) 会場

東京都立産業貿易センター台東館4～7階
協会ブースは4階 (20㎡)

2) 日程

開催期間 令和7年5月22日 (木) ～ 23日 (金)
5月22日 開場9:00 閉場17:00
23日 開場9:00 閉場16:00

3) ブース展示

- ◆ 協会の実施している日本産革のPR事業活動を紹介するパネルや牛丸革を展示し、工場見学VRの体験会も実施。
- ◆ 協会または革きゅんYouTubeチャンネルから、動画を自身のスマホで視聴いただいた方に本革カードホルダーを配布。
- ◆ Kis-My-Ft2の千賀健永さんが昨年度『革きゅん』のSTORYコンテンツ内で手掛けた『伝統×ポップアートを体現したローファー』をメインに、くっきー!さんの『オールインワン(2023年度企画)』、マリエさんの『永遠のレザーコート(2022年度企画)』も展示し、篠原ともえさんを含む過去の革きゅんSTORY企画を紹介した。



【協会ブース全景】



① 展示物

- 動画モニター：革きゅんSTORY 千賀健永さん動画
- 動画タブレット：協会YouTubeチャンネル動画
- 壁面グラフィック：篠原ともえさん着物
- パネル
 - ・本革PR
 - ・日本革市公式Webサイト紹介
 - ・ジャパンレザープライドタグ紹介
 - ・日本タンナーズ協会YouTubeチャンネル紹介
 - ・革きゅんWebサイト紹介
- 牛丸革
- 工場見学VR2台
- 千賀健永さんローファー、くっきー！さんオールインワン、マリエさんコート(全て革きゅんSTORY内制作物)と各アイテムに使用した革サンプル



【VR体験コーナー】

② 配布物

- | | |
|---------------------|---------|
| ○本革カードホルダー | (116 個) |
| ○本革PRチラシ | (12 部) |
| ○ジャパンレザープライドタグPRチラシ | (11 部) |
| ○タンナーズブック(2022年度版) | (22 部) |
| ○協会パンフレット | (22 部) |
| ○JIS規格リーフレット | (20 部) |





4) 来場者動向



T L F 来場者 3,643人 (※主催者：協同組合資材連発表による)

(内訳)	靴・履物	775人	(21.3%)
	鞆・袋物	723人	(19.8%)
	ベルト・小物	280人	(7.7%)
	アパレル	213人	(5.8%)
	家具・インテリア	68人	(1.9%)
	一般・学生	663人	(18.2%)
	その他	878人	(24.1%)
	特別招待者	43人	(1.2%)

【来場者の様子】



3. 総括

最後の出展となった第109回のTLF。会場のある浅草は、変わらず多くの国内外の観光客で賑わっており、長引く円安や最近のホテル代高騰の理由を改めて実感させられた。

協会ブースは、4階フロアのエレベーターを降りた来場者の目に最初に留まる絶好の場所での展示となった。事業活動を紹介するパネルや迫力ある丸革の展示、タンナーの工場をリアルに見学体験できるVRゴーグルの視聴に加え、「革きゅんSTORY」企画内でKis-My-Ft2の千賀さんが手がけたレザーローファーをメインに、マリエさんのレザーコートなど過去の制作アイテムも展示したブースは、非常に内容の充実したものとなった。

2日間を通して展示フロアの人通りは前回よりもさらに少なく感じられたが、くっきー！さんのオールインワンはエレベーターホールから最もよく見える場所に展示されていたこともあり、男性来場者を引きつける良いきっかけとなっていた。革きゅんの制作物に興味を持って立ち止まった来場者の多くは、隣の展示革に触れながら、興味深そうに各アイテムのコンセプトなどの説明に耳を傾けてくれた。また、革きゅんYouTubeチャンネルや協会YouTubeチャンネルについては、各動画のコンセプトに共感した来場者から「面白い」「こういう企画が大好きなので、後で全部観てみます」といった嬉しい言葉をいただいた。今後は、このようなイベントに頼ることなく、これまで制作してきた動画のPV数を増やしていくことが課題となる。

以上のように、TLFは本協会の活動や本革の魅力を来場者に直接伝えることができる貴重な場であり、多くの反応や気づきを得ることができた。一方で、今回をもって出展を終了することは非常に残念であるが、これまでの出展を通じて得た経験や来場者の声を今後の活動に活かしながら、引き続き本革の魅力と協会の取り組みをより多くの方々に届けていきたい。